

平田オリザさんと創る 【表現力を磨く演劇ワークショップ】



©T.Aoki

講師

劇作家・演出家
大阪大学
コミュニケーションデザイン・センター教授

平田 オリザ Oriza Hirata

演劇のメソッドで体感するコミュニケーションと表現

国際化時代におけるコミュニケーション能力とはなにか、なぜ、演劇や芸術に触れることがコミュニケーションのツールとして重要なのか、じっくりと考え経験していきます。

表現力やコミュニケーション能力がすぐに身につくとか、人生観が変わるといったキャッチーな触れ込みはありませんが、確実に、参加者の世界観

を広げるお手伝いはできていると思っています。

どなたでも参加いただけるメソッドで進めますので演劇経験の必要はありません。身体と頭と心をほぐし、表現リテラシーを磨きましょう。

平田オリザ

5/23 水

第1回

18:30～21:30

コミュニケーション能力とはなにか

緊張をほぐし、リラックスした状態でプログラムに参加できるよう簡単なコミュニケーションゲームから始めます。さまざまなゲームを体験し、イメージの共有しやすいものから、次第にイメージの共有しにくいもの(人間の心)をどのように伝えるのか、コミュニケーションの本質を考えます。

創作1

戯曲の構造

6/20 水

第4回

18:30～21:30

受け手の想像力を見積もる

演出家には、観客の想像力の幅をある程度想定してプランを立てることが求められます。コミュニケーション、とりわけプレゼンテーションに必要な演出の技術について考えます。

テキスト3

観客の想像力を見積もる

創作4

プロットを練る

5/30 水

第2回

18:30～21:30

意識を分散する

人間は、ともしれば一つのこと意識を集中しがちです。演劇でも、台詞に集中するだけではリアルな演技をすることはできません。ここでは、台詞の意味内容に集中しすぎることなく、声の大きさ、トーン、表情、身体の動かし方などへ意識を分散するトレーニングを行います。

テキスト1

意識を分散する

創作2

設定を考える

7/7 土

第5回

14:00～17:00

物語の構造

私たちが生きる実人生は、複雑系のなかにあって曖昧であり、その一部分だけを切り取って表現することはできません。現実世界を表現するためには、誰もが理解できる普遍性を物語に折り込むことが大切です。古今東西の物語を支える普遍的な構造はなにか。創作を通じて、表現の本質を捉えます。

テキスト4

物語の構造

創作5

エピソードを集める

6/13 水

第3回

18:30～21:30

コンテキストをすり合わせる

一つの言葉から受けるイメージ、言語に関する行動は、国、民族、文化はもちろん、一人ひとり異なります。相手はどのような意味でその言葉を使っているのか、“コンテキストのズレ”に気づき、“コンテキストのすり合わせ”を体験することによって、コミュニケーションの本質を捉えます。

テキスト2

コンテキストとはなにか

創作3

登場人物を考える

7/8 日

第6回

10:00～17:00

創作の喜び・演じる楽しみ

演劇が持つ表現の可能性に最大限に触れます。グループ発表の準備、発表、講評、相互批評を通して、協働で無から何かを創り上げる喜び、演じる楽しみを味わいます。

創作6

台詞を考える グループ創作・発表

演じる

【テキスト】に沿って役割を演じることで、コンテキスト(場の流れ)を身体で感じ、理解します。

※【テキスト】とは短い台詞(1～2分程度のもの)が書かれた簡単な台本です。

創る

グループでミニ戯曲を【創作】し、最終回で発表します。

講師プロフィール

平田 オリザ(ひらた おりざ)

大学在学中に劇団「青年団」を結成。1995年に「東京ノート」で第39回岸田國士戯曲賞受賞。演劇をはじめ、教育や言語学におよぶ活動は、日本はもちろん世界からも注目を浴び、こまばアゴラ劇場を拠点に世界各地で公演やワークショップを開催。コミュニケーションデザインの教育・研究に携わるとともに、日本各地の学校において、対話劇やワークショップを実践するなど演劇の手法を取り入れた教育プログラムの支援・開発にも力を注ぐ。

●主な著書

『演劇入門』(講談社現代新書)、『芸術立国論』(集英社新書)、『ニッポンには対話がない』(三省堂)

開催概要

日程	2012年 5/23(水)、5/30(水)、6/13(水)、6/20(水)、7/7(土)、7/8(日)
回数	6回
時間	第1～4回 18:30～21:30(3時間) 第5回 14:00～17:00(3時間) 第6回 10:00～17:00(6時間・休憩1時間)
定員	24名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円(税・教材費込)
お勧めしたい方	・身体を動かしながら、自己表現・プレゼンテーションの力を高めたい方 ・グローバルなコミュニケーション力を身につけたい方 ・新デザイン、新サービスなど抽象的概念や目に見えないものを他の人に伝えたい方 ・文化行政、芸術教育に関心のある方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所(資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで: キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで: 参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで: 参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内: 参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)

◆20%割引: 105,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合

◆10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合

【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。)

【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail: info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いします。